

# 吊るし雛を作って頂きました



ご利用様が「吊るし雛」を作ってくれました。とても繊細に作ってあるのでビックリです。そしてとてもかわいい感じで、写真のようにたくさんの人形が吊るされています。職員も他のご利用者様も皆さんが、その出来栄えにとっても驚いています。吊るし雛は江戸時代からの始まりで、当時はお雛さんが高価なため買えなかった庶民が、女の子の健やかな成長と幸せを祈り、近所の人たちが少しずつ持ち寄って一つに吊るしたのが始まりだそうです。

s  
s  
み  
ら  
い  
新  
聞

第 140 号  
2025 年 4 月  
発行責任者  
新津 尚

## 男性介護者のつどい

令和 7 年度第 1 回目の「**男性介護者のつどい**」が下記の要綱にて開催されます。

ご興味のある方、実際に介護で悩んでいる方、介護についての学びをしたい方、介護の息抜きをしたい方など、ご参加をお待ちしています。

日 時：2025 年 5 月 23 日（金）  
13 時 30 分～15 時 30 分  
（受付開始 13 時～）

場 所：橿形社会福祉会館 2 階ホール  
住 所：南アルプス市小笠原 4 7 1-8  
参加費：無料

参加者：30 名程度

内容

第1部 ミニ講座「認知症の症状と接し方」  
（介護をする時のヒント）

講師：介護福祉課 介護予防担当

第2部 座談会（介護の事、介護にまつわる  
悩み、体験談など。聞くだけでも OK）

主 催：南アルプス市役所 介護福祉課

共 催：木綿の会、やまびこの会（認知症の人  
と家族の会）

お問い合わせは、055-282-7347  
介護福祉課 高齢者福祉担当 5月16日まで

## 介護で旅行に行けな

**介護で旅行に行けない・・・諦めないための  
方法は？**

介護を担う家族にとって、自分の時間を確保することは非常に難しい現実があります。特に旅行のような長時間の外出は、介護を行っている家族にとって不可能だと感じられることも少なくありません。要介護度が高くなるほど介護者の負担が増大し、自由な時間の確保がさらに困難になります。最も大きな障壁は「代替りの介護者がいない」ということです。介護者がしっかりと休息を取るためには、安心して要介護者を預けられる環境が必要です。一時的なケアを提供するサービスには「ショートステイ」があり、これを活用することで、介護者は安心して自分の時間を持つことができます。まずケアマネージャーに相談することをおすすめします。介護者自身が「休息をとることは贅沢なことではなく、より良い介護のために必要なこと」という認識を持つことが大切です。「短期入所生活介護」は、食事・入浴・排泄などの日常生活上の介護を受けることができます。